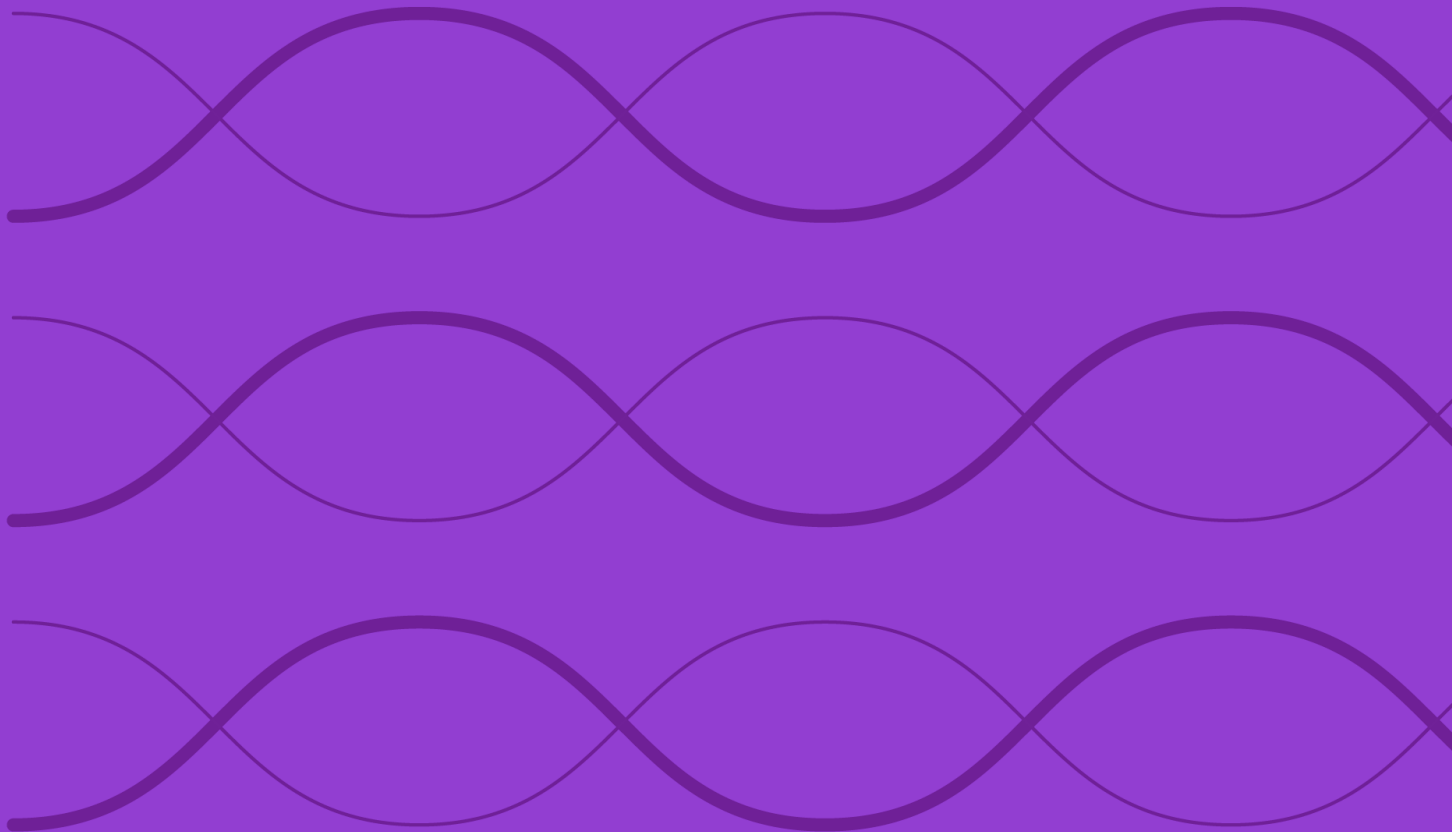


Morningstar 配当利回り

フォーカス指数 SM

構築ルール



概要.....	3
指数の構築.....	4
メソドロジー概要.....	4
対象ユニバース.....	4
適格性.....	4
ポートフォリオ構築.....	5
指数のメンテナンスと算出.....	7
定期メンテナンス.....	7
コーポレートアクション.....	7
指数算出と価格データ.....	7
メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針.....	8
データの修正と精度.....	9
日中の指数データの修正.....	9
指数関連データと除数の修正.....	9
例外.....	9
付録.....	10
付録 1: 「ルールブック」の変更.....	10
付録 2: 用語.....	10
付録 3: 「Morningstar エコノミック・モート・レーティング」 「不確実性レーティング」 「倒産距離」.....	10
付録 4: 当指数をベースとする戦略.....	11
Morningstar Indexes について.....	12

概要

Morningstar®配当利回りフォーカス指数SMは、配当利回りが魅力的で財務の質の高い米国株式に連動するよう設計されています。構成銘柄は、Morningstar 米国株式指数の構成銘柄の中から選択され、各銘柄の支払い配当金額に基づいて加重されます。

当指数は、環境・社会・ガバナンス（ESG）基準を組み込んでいません。

指数設定日及びパフォーマンス算出開始日

本指数の算出開始日は 2010 年 1 月 10 日、遡及算出開始日であるパフォーマンス基準日は 2005 年 6 月 17 日に設定します。

指数の構築

メソドロジー概要

対象ユニバース

- Morningstar 米国株式指数
(米国株式市場の投資可能な時価総額の上位 97%を占める銘柄がユニバース)

適格性

- 過去 12 ヶ月間に質の高い配当を支払った企業 (REITs は除外)
- 企業の質
 - 「Morningstar エコノミックモート・レーティング」が付与されている場合、同レーティングが「狭い (Narrow)」あるいは「広い (Wide)」企業のみが対象
 - 「Morningstar 不確実性レーティング」が「非常に高い」または「極端に高い」企業は対象外
 - 「倒産距離」スコアが、各地域分類内で上位半分に入る必要有

ポートフォリオ構築

- 予想配当利回りの高い順に 75 銘柄を選択
- 構成銘柄は、支払い配当金額に基づいて加重

Morningstar 配当利回り フォーカス 指数

対象ユニバース

Morningstar 配当利回りフォーカス指数の構成銘柄は、定期的に行われる構成銘柄の入れ替えの際に、Morningstar 米国株式指数（親指数）の構成銘柄の中から選択されます。親指数の構築についての詳細は、[Construction Rules for Morningstar US Market Index](#) をご参照ください

適格性

指数において適格となるには、全ての構成銘柄が以下の基準を満たす必要があります。:

- 各銘柄の予想配当利回りはプラスでなければなりません。
 - 不動産投資信託 (REITs) は除外されます。
- 企業が複数の適格株式クラスを有する場合、Morningstar の判定に基づき、最も流動性の高い株式クラスを採用します。

• 企業の質

- 「Morningstar エコノミック・モート・レーティングTM」が付与されている場合、「狭い（Narrow）」または、「広い（Wide）」レーティングを有する企業でなければなりません。このような企業は、長期にわたり資本コストを上回る利益を生み出すと予想される耐久性のある競争優位性を享受していることを示しています。
- 「Morningstar 不確実性レーティング」が「非常に高い」あるいは「極端に高い」企業は不適格となります。
- 各企業の財務健全性については、Morningstar が算出する「倒産距離」の尺度を用いてスクリーニングを行います。「倒産距離」は、市場情報と財務会計情報の両方の利点が反映された構造モデル、あるいは条件付き請求権モデルです。企業の株式は、当該企業の資産価値（企業価値）を原資産とするコールオプションと見なされます。企業の資産総額が、当該企業の負債総額（行使価格）をカバーするだけの十分な額でない場合、デフォルトが発生することが想定されます。
- 「広い」あるいは「狭い」モート・レーティングを有し、「不確実性レーティング」の要件を満たす企業の場合、Morningstar の「倒産距離」スコアは、その企業が属するセクター分類において上位 50%内である必要があります。
- Morningstar の株式リサーチ・グループが調査対象としていない企業、つまり「Morningstar エコノミック・モート・レーティング」および「不確実性レーティング」が付与されていない企業は、Morningstar の「倒産距離」スコアは、その企業が属するセクター分類において上位 30%内である必要があります。

「Morningstar エコノミック・モート・レーティング」、「不確実性レーティング」、および「倒産距離」の概要については、付録 3 をご参照ください。

ポートフォリオ構築

- これらの適格基準を満たす企業を、予想配当利回りの高い企業から低い企業へと順位付けします。
- 既存の指数構成銘柄は、以下の条件のうち 1 つを満たせばそのまま採用されます。:
 - 予想配当利回りが上位 75 位内にある
 - 予想配当利回りが上位 100 位内にあり、前回の指数再構築時に上位 75 位内にあった
- 銘柄は、予想配当利回りの高い順に構成銘柄数が 75 銘柄に達するまで指数に組み込まれます。

構成銘柄数

当指数は、透明性のある順位付け手法を用いて、構成銘柄の入れ替えの際に選択基準および適格基準を満たす 75 銘柄に投資することを目指しています。ただし、選択・適格基準を満たす銘柄が目標銘柄数に満たない場合、あるいは、銘柄入れ替え後に発生したコーポレートアクションの結果、銘柄が追加、または削除された場合は、構成銘柄数は目標銘柄数よりも多く、あるいは少なくなる可能性があります。銘柄入れ替え時に、構成銘柄数が目標を下回る場合は、全ての適格銘柄が採用され、各構成銘柄の比率は指数の加重方法に基づいて決まります。銘柄入れ替え実施日、およびコーポレートアクションの取り扱いについては、「指数のメンテナンスと算出」の項をご参照ください。

指数の加重方法

当指数は、配当金総額加重型指数で、「5-10-50」の上限が設定されています。つまり、構成銘柄は、各企業の配当金総額に基づいて加重されます。単一構成銘柄の比率は 10%に制限されており、構成銘柄比率が 5%を超える銘柄の合計が 50%を超えることはできません。詳細については、[Morningstar Indexes Calculation Methodology rulebook](#) をご参照ください。

指数のメンテナンスと算出

定期メンテナンス

構成銘柄をリセットする指数構成銘柄の入れ替えとリバランスは、四半期ごとに実施します。これらの調整は、3月、6月、9月、12月のそれぞれ第3金曜日の翌月曜日に行います。月曜日が祝日の場合は、直後の火曜日となります。構成銘柄の入れ替えは、それぞれ2月、5月、8月、11月の最終取引日の市場データに基づいて行います。

指数構成銘柄の入れ替えとリバランスについての詳細は、付録2をご参照ください。

指数のデータファイルは、グローバルカレンダー・スケジュールに従って配信されます。つまり、月曜から金曜まで各マーケットの祝日も含め毎日、指数ファイルは配信されます。

コーポレートアクション

コーポレートアクションの取り扱いは、代替加重指数のメソドロジーに従います。詳細については、[Morningstar Indexes Corporate Actions Methodology rulebook](#)をご参照ください。

指数算出と価格データ

指数の算出と価格データについての詳細は、各ルールブック（それぞれ [Morningstar Indexes Calculation Methodology](#)、[Equity Closing Prices Used for Index Calculation](#)）をご参照ください。

メソドロジーのレビューと指数の算出停止に関する指針

指数のメソドロジーのレビューは、提示された基本方針を確実に達成できるよう継続的に行います。これらのレビューは、コーポレートアクションの取り扱い、銘柄選択、メンテナンス・プロセスを対象としています。メソドロジーの変更はいかなる内容であっても、指数の契約者に事前通知されます。更なる詳細については、[Morningstar Index Methodology Change Policy](#) をご参照ください。

また、Morningstar は、指数に関する重大な変更や指数の算出停止につながる可能性のある事象が発生した場合も、指数のすべての契約者とステークホルダーにこれを通知します。指数の算出停止につながる可能性のある事象には、市場構造の変化、プロダクトの定義変更、不完全なデータ供給、不十分な指数の収益性、指数を使用する顧客数の不足、および/あるいは、Morningstar 指数メソドロジー委員会が管理不可能なその他の外部要因などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

指数、あるいは親指数の算出停止によって、指数に連動する商品を提供する契約者は、ビジネスの中断を余儀なくされる可能性があります。指数・親指数の算出停止に備え、全ての契約者が強固な代替プロセスを確保しておくことを奨励します。更なる詳細については、[Morningstar Index Cessation Process](#) をご参照ください。

データの修正と精度

日中の指数データの修正

リアルタイムで算出される指数に使用するデータの正確性を確保するため、商業上合理的な手段を講じるものとします。価格あるいはコーポレートアクション・データの誤りが、指数の日々の高値あるいは安値に影響を及ぼす場合、可能な限り速やかに遡及的に修正するものとします。

指数関連データと除数の修正

データベースにある個別銘柄の株価やコーポレートアクション・データの誤りが発見された場合、これを修正するものとします。さらに、指数の除数の誤りについては、それが発見日から 2 日以内のものである場合は、将来に持ち越されることがないように、遡及的に修正するものとします。過去の古いデータの誤りの修正については、重要性和実行可能性に鑑み商業上合理的な手段を講じるものとします。

更なる詳細については、[Recalculation Guidelines](#) をご参照ください。

例外

Morningstar は上記の手順を適用するよう努めますが、市場環境、監督当局、法令、金融または税制の理由により代替的な対応をとる場合がございます。代替的な方法を再威容する場合は、関連する Morningstar 指数メソドロジー委員会により決定され、非標準的な手順を採用する場合は、Morningstar 指数管理委員会に報告されます。

付録

付録 1: 「ルールブック」の変更

項	定義の変更	更新日
ルールブック全体	新しいテンプレートに移行	2022 年 12 月
概要	指数の定義を更新	2022 年 12 月
指数のメンテナンスと算出	算出スケジュールをグローバルカレンダーに変更	2023 年 11 月
データの修正と精度	算出と報告の精度の削除	2024 年 11 月

付録 2: 用語

用語	定義
構成銘柄の入れ替え	各構成銘柄の入れ替え時に、「指数構築プロセス」で説明されている手順を実行します。この結果、構成銘柄はリセットされます。
リバランス	各リバランス時に、更新された配当データに基づいて構成銘柄の比率はリセットされ、比率の上限が適用されます。

付録 3: 「Morningstar エコノミック・モート・レーティング」「不確実性レーティング」「倒産距離」

Morningstar エコノミック・モート・レーティング

自由経済市場では、資本は最大のリターンを生み出せる場所を求めています。ある企業が収益性の高い製品やサービスを開発できたとしても、競争圧力によってエコノミック・プロフィット（加重平均資本コストを上回る投下資本利益）が圧迫されるまでにそれほど長い時間はかかりません。エコノミック・モート（企業が長年にわたって資本コストを上回るリターンをあげることを可能にする構造的な競争優位性）を持つ企業だけが、競合他社を寄せ付けない有利な立場にあります。

Morningstar の株式リサーチ・アナリストは、投資家がエコノミック・モートを有する企業を特定できるよう、企業に「なし」、「狭い」、あるいは「広い」エコノミック・モート・レーティングのうちの 1 つを付与しています。企業が「狭い」、あるいは「広い」エコノミック・モート・レーティングを獲得するためには、1) 資本コストを上回るリターンをあげる見込みがあること 2) 利益率の急速な悪化を阻む強い競争優位性を有すること、の 2 つの主要な要件を満たす必要があります。

Morningstar の株式リサーチ・アナリストによるエコノミック・モート・レーティングの評価プロセスについての詳細は、[Morningstar Equity Research Methodology](#) をご参照ください。

「倒産距離」

「倒産距離」は、市場情報と財務情報の両方の利点が反映された構造モデル、あるいは条件付請求権モデルです。企業の株式は、当該企業の資産価値（企業価値）を原資産とするコールオプションと見なされます。企業の資産総額が当該企業の負債総額（行使価格）をカバーするだけの十分な額でない場合、デフォルトが発生することが想定されます。「倒産距離」の詳細については、[Morningstar's Distance to Default Methodology](#) をご参照ください。

「不確実性レーティング」

「不確実性レーティング」は、営業レバレッジおよび財務レバレッジ、経済全体に対する売上高の感応度、製品集中度、価格決定力、その他の企業固有の要因など、各企業の株式の価値の、適正価値推計値の周りのばらつき度合いの境界の範囲を示すアナリストの確信度合いを示すものです。Morningstar 株式リサーチが行う「不確実性レーティング」のプロセスの詳細については、[Morningstar Equity Research Methodology](#) を参照ください。

付録 4: 当指数をベースとする戦略

当ポートフォリオは、[Morningstar Dividend Yield Focus Target Volatility 5 Index](#) のベース指数として使用されています。

Morningstar Indexes について

Morningstar Indexes は、進化し続ける投資家の皆様のニーズに対応し、最先端の商品やサービスで投資家の皆様を支援するために設立されました。透明性が高く、投資家の皆様に焦点を当てるデータとリサーチのリーダー的存在として我々が築いてきた豊富な経験を活かし、主要な資産クラス、スタイル、投資戦略の選択の幅を広げ、個人投資家、機関投資家、ウェルスマネジャー、アドバイザーの皆様が、それぞれの目的に合う投資機会を見いだせるよう独自の手段を備えています。伝統的指数や独自の IP を活用した指数から、指数の設計、算出、配信サービスに至るまで、我々のソリューションは、投資家の皆様自身と同じくらい多様な投資環境に対応しています。

Morningstar 指数メソドロジー委員会

Morningstar 指数メソドロジー委員会は、Morningstar が知的財産を所有するあらゆる指数を対象として新たな指数の開発、指数のメソドロジーの変更、指数の算出停止を全て監督しています。また、当委員会は、各指数が Morningstar リサーチの原則と価値観に合致するものであることを確実にする責務を負います。当委員会の構成員は、指数のリサーチ、商品開発、商品管理、クライアント・サービス、指数の導入およびオペレーションの専門知識を持つ指数チームのメンバーで構成され、指数の設計とメソドロジーについて最初の層のガバナンスチェックを提供します。

Morningstar 指数オペレーション委員会

Morningstar 指数オペレーション委員会は、プロセス、システム、および例外的な対応を統括し、指数値が算出されている全指数の日々の管理を行っています。これには、指数のリバランスや銘柄入れ替え、修正、マーケット分類および不測の事態への対応が含まれます。当委員会は（英国および欧州連合（EU）のベンチマーク規制（BMR）の要件である）年一回行われる指数メソドロジーのレビューを監督し、メソドロジーが、引き続き目的に適合しており、当初設定された投資目的を継続的に達成することを確実にします。当委員会の構成員は、データ、オペレーション、コーポレートアクション、商品開発、指数の算出開始、クライアント・サービスおよび指数管理の経験を持つ指数チームのメンバーで構成され、指数のオペレーションについて最初の層のガバナンスを提供しています。

Morningstar 指数監視委員会

Morningstar 指数監視委員会は、英国および欧州連合（EU）のベンチマーク規制（BMR）の要件に従い指数を監視する責任を負い、該当する BMR で求められているベンチマーク管理のガバナンスの全ての側面を独立した立場で監視しています。その権限は、指数算出および管理に関連する Morningstar Indexes の全ての業務に及び、Morningstar が所有するベンチマークだけでなく、顧客が所有するベンチマークおよび指数算出の管理も含まれます。当委員会の監視機能は Morningstar の組織体制の一部ではありますが、指数ビジネス、指数管理、およびその他の指数委員会から分離され独立性が維持されています。

www.indexes.morningstar.com

お問い合わせ

indexes@morningstar.com

The information in this document is the property of Morningstar, Inc. Reproduction or transcription by any means, in whole or part, without the prior written consent of Morningstar, Inc., is prohibited. While data contained in this report are gathered from reliable sources, accuracy and completeness cannot be guaranteed. All data, information, and opinions are subject to change without notice. This document may contain back-tested or simulated performances, and the subsequent results achieved by the investment strategy may be materially different.

<重要事項>

© 2025 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. 本レポートの全ての著作権はモーニングスターに帰属します。モーニングスターから事前の書面による承諾がない限り、当資料の一部あるいは全ての複製ならびに再配布等の使用はできません。また、損害賠償、著作権法の罰則の対象となります。

本レポートに記載されている情報、データ、分析、意見は、(1) モーニングスターの機密情報ならびに専有情報が含まれます、(2) コピーならびに再配布はできません、(3) 作成日時点の情報です、(4) 予告なしに変更することがあります、(5) モーニングスターによる投資助言ではありません、(6) 情報提供のみを目的としたものです、(7) 銘柄の売買を推奨するものではありません、(8) 情報の正確性、完全性や適時性を保証するものではありません。モーニングスターは、法律により定められている場合を除き、本レポートの情報、データ、分析、意見を利用して行いたいかなる投資の判断、損失、損害に責任は負いません。

当資料にある指数はそれ自体運用商品ではなく、直接投資することはできません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。本レポートは営業用資料ではありません。投資を行う際は、目論見書や他の開示情報をご確認ください。

Morningstar の商号、ロゴは Morningstar, Inc.の登録商標です。